

東環協ニュース（第 156 号）の訂正について

東環協ニュース（第 156 号）の文中に間違いがありました。お詫びして、訂正致します。

訂正箇所および訂正内容は、下記の通りです。

記

P33 「関係機関・団体の動き」のコーナー 下から 3 行目

誤：『環境セミナー in 福島 by 埼玉』

正：『環境セミナー in Nagano(2014)』

以上

東環協ニュース

発行●東京都環境計量協議会

〒114-0013 東京都北区東田端 1 - 12 - 3
稲垣ビル 5F セフティレビュー内
TEL (03) 5855-0260
FAX (03) 5855-0261
MAIL toukankyo@mbs.sphere.ne.jp
URL <http://www.toukankyo.org>

- ★ 第 37 回通常総会報告
 - ・ 第 37 回通常総会議事録
 - ・ 総会資料
- ★ 第 37 回通常総会後の懇親会報告
- ★ 平成 26 年度 新任者教育セミナー報告
- ★ 新会長・新役員等の挨拶
- ★ 役員の仕事分担
- ★ 関係機関・団体の動き
 - ・ 首都圏環境計量協議会連絡会
 - ・ (一社)神奈川県環境計量協議会
 - ・ (一社)埼玉県環境計量協議会
 - ・ 千葉県環境計量協会
 - ・ (一社)日本環境測定分析協会
- ★ 東環協からのお知らせ
 - ・ 平成 26 年度第 1 回親睦ゴルフ大会報告
 - ・ 平成 26 年度これからの主要行事予定
 - ・ 事務局からのお知らせ

第 37 回通常総会報告

平成 26 年 5 月 15 日(木)、第 37 回通常総会が四谷のスクワール麹町 5 階「寿の間」で開催されました。正会員 24 社のご出席をいただき、31 社の委任状と合わせ定数を充足していることから、定刻の 16 時 30 分、佐藤副会長が総会の成立を宣言しました。議長には鈴木会長が選出され、竹田副会長により昨年度の事業報告並びに収支決算報告、今年度の事業計画・予算案の説明が行われました。今年は役員改選期であり、4 名の役員が都合により退任され、会長推薦による新役員 3 名の提案があり、総会において承認され、新たに谷口氏・加洲氏・吉永氏が選任されました。また、前期まで 4 期 8 年間会長職を務められました鈴木会長に代わり佐藤副会長が会長推薦で今期より会長に就任することが提案され承認されました。佐藤副会長の後任として五十嵐理事が副会長に就任することが提案され承認されました。総会における各議案の審議は滞りなく進行し、17 時 40 分に総会は無事終了致しました。詳細は議事録及び総会資料をご覧ください。

鈴木会長の挨拶



東京都環境計量協議会
<鈴木会長>

ただ今、ご紹介に預かりました会長の鈴木でございます。総会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はご多用中、本総会に多数ご出席頂き誠に有難うございます。東京都計量検定所から高橋検査課長、日本環境測定分析協会からは田中会長にご来席いただき有難うございます。

昨年は東京オリンピックの開催が決まり、景気もアベノミクスの効果がありまして上向きの基調でありましたけれども、4 月から消費税が増税になりましてちょっと停滞が始まったのかなという感じもしております。

今年の春闘では、大企業のベースアップがかなりニュースになっておりましたけれども私たちの業界の方ではまだまだ厳しい現状にあるのかと思います。

東日本大震災の復興に関しましては、被災地の瓦礫処理というのは大体終わっております、これから復興というふうに向かっているのですけれども防災計画が遅れておまして、まだまだこれからというところが多いようでございます。福島県では田村市など一応除染が完了したということで、被災者の帰宅というのが一部始まっているのですけれども、まだまだ放射能の高い地区では帰宅のめどが立っていないというのが現状でございます。

環境に関しまして、昨年は測定法として JISK0102 が改正になりました他、告示の 13 号と合わせてあります産業廃棄物等に含まれる金属等の検定法が改定されました。また、水生生物の保全に関わる環境基準も「直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩」が追加になりました。大気では PM2.5 が問題となり、また、年末には放射性物質のモニタリングということが大気汚染防止法及び水質汚濁防止法に含まれて、今後、環境という面でも放射能というものが関わってくることになると思われま

東環協が行ってきた事業に関しましては、この後詳しくご報告ございますけれども、新任者セミナーを日環協及び埼玉、千葉の協議会と共に開催いたしましたほか、見学・研修会、技術研修会などを行っております。また、環境測定技術事例発表会では都計量検定所より「環境計量証明事業所の立入検査状況について」というテーマでご講演を頂きました。これらの行事に多くの会員の皆様に参加いただきまして本当にありがとうございます。

また、皆様もご覧になっているかと思うのですが、東環協のホームページには毎月更新されてございます。官公庁を中心とした新しい情報を掲載しておりますので、月1回ぐらいは皆様ホームページをご覧になって参考にして頂きたいと思っております。

これより第37回通常総会におきまして、平成25年度の事業報告と収支決済ならびに平成26年度の事業計画案と収支予算案、今回は、役員の改選期でございますので新期役員の人選について、ご審議を頂くわけですが、皆様の活発なご意見、ご検討をお願いしたいと思います。

簡単ですがご挨拶とさせていただきます。



< 通常総会風景(1) >



< 通常総会風景(2) >

ご来賓の方の祝辞

東京都計量検定所 検査課長 高橋 宏栄氏



東京都計量検定所
< 高橋課長 >

ただいま、ご紹介をいただきました、東京都計量検定所 検査課長の高橋でございます。

本日、東京都環境計量協議会 第37回通常総会が、このように盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。また、この場にご招待頂き、誠に有難うございます。

私ども計量検定所の日ごろの業務につきまして、東京都環境計量協議会の皆様には大変お世話になっております。一例を挙げますと、11月の計量記念日に、新宿駅西口広場で行っております「都民計量のひろば」におきまして「環境と計量」のコーナーの出展、運営にご協力いただくなど、深いご理解と多大なご支援をいただいております。この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。

また、今年1月に、計量検定所の庁舎を港区から江東区に移転しました。皆様のおかげで無事に移転ができました。まことに有難うございます。

最後になりますが、東京都環境計量協議会の益々のご発展と、本日ご参加頂いた皆様方の益々のご健勝を祈念いたしまして、はなはだ簡単ですが、私の挨拶とさせていただきます。本日はお招き頂き誠に有難うございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



< 通常総会風景(3) >

東京都環境計量協議会
平成26年度(第37回)通常総会
議事録

日時 : 平成26年5月15日(木) 16:30~17:40
場所 : スクワール麹町(東京都千代田区麹町6-6)
出席者 : 55社(うち委任状31社)

佐藤 隆副会長が16時30分に、正会員数77社中55社の出席があり、会則第12条により総会が成立することを宣言した。

総会を開催するに当たり、最初に鈴木幹夫会長が挨拶を行った。

会則第22条に従い、会長が議長となったが、議事に入る前に、会長が議事署名人として、(株)総合環境分析の安藤弘昭氏、森永エンジニアリング(株)の仲山佳孝氏を指名し、両氏はこれを承諾した。

議事

1. 第1号議案「平成25年度事業報告承認の件」及び第2号議案「平成25年度収支決算報告承認の件について」

竹田良平副会長が、配布された総会資料に基づき説明した。引き続き中村 勉監事が、平成25年度決算書について詳細に監査した結果、収支状況を正しく示していると報告した。第1号議案および第2号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

2. 第3号議案「平成26年度事業計画(案)審議の件」および第4号議案「平成26年度収支予算(案)審議の件」について


竹田良平副会長が、配布された総会資料に基づき説明した後、第3号議案及び第4号議案について、一括審議した結果、異議なく承認された。


3. 第5号議案「新役員承認の件」


竹田良平副会長より、佐賀理事、池田理事、泉監事、石山監事の4役員が退任されたため、会長推薦による新役員3名の提案があり、異議なく承認された。また、本年度役員改選の時期にあり、互選により選出された、佐藤隆会長、竹田良平副会長、五十嵐 鋼副会長以下、新役員が紹介された。

以上で、第37回通常総会の議事が終了し、17時40分に五十嵐 鋼副会長の閉会の言葉で閉会した。

以上

議長 鈴木幹夫 

議事録署名人 安藤弘昭 

議事録署名人 仲山佳孝 

平成 2 6 年 度

第 3 7 回
総 会 資 料

平成 2 6 年 5 月 1 5 日 (木)

東 京 都 環 境 計 量 協 議 会

[第1号議案]

平成25年度事業報告

平成25年度は、一部の業界では景気回復基調は見られるものの、私共検査分析業界の業況は、分析単価の低価格化など依然として厳しい状況が続いております。また昨年は、JISK0102工場排水試験法、告示13号の産業廃棄物に含まれる金属等の検定法が改定された他、法改正に伴い何かと対応に追われていることとお察しいたします。

しかしながら、2020年の東京オリンピック・パラリンピック招致決定など今後の経済効果が見込める話題もございました。

このような厳しい中でも、当協議会は「環境計量証明の測定・分析データの信頼性及び品質向上」、「分析技術者の技術向上」をスロ・ガンとし、またホームページに新着情報を掲載すると共に測定・分析業界の発展に寄与すべく、多くの会員企業が試薬及び機器メーカー等と交流出来るよう日々努めて参りました。

また、東京都計量検定所ほか関係官庁には、日頃よりご指導・ご協力を仰ぐと共に（一社）日本環境測定分析協会ならびに首都圏環境計量協議会連絡会、大阪環境測定分析事業者協会などの関連団体と連携を図りながら、若手技術者を対象とした「新任者教育セミナー」の開催や技術研修会、事例発表会を開催することで会員相互の交流と技術情報習得の一端を担ってきたものと考えております。

以下に、それらの詳細をご報告致します。

平成26年3月31日現在の会員数

正会員 77社（入会0社、退会1社）

賛助会員 9社（入会1社）

合計 86社

役員 会長 1名、副会長 2名、理事 7名、監事 1名、顧問 1名

1. 会議の開催

（1）総会 平成25年度(第36回)通常総会

日時：平成25年5月14日（火） 16:30～17:40

場所：スクワール麹町（東京都千代田区麹町6-6）

出席者：57社（うち委任状32社）

（2）役員会

全体会議：5回

平成25年：5月14日、7月19、20日、10月10日、12月10日

平成26年：3月14日

（3）部会会議

総務、業務、技術の3部会で必要に応じて担当理事による会議を開きました。

2. 事業活動

(1) 新任者教育セミナー

当協議会では「環境計量に関する測定データの信頼性の向上」また「安全・安心を提供できる技術者の育成」をスローガンとして各種技術講習会等を企画しております。今回も昨年度同様、(一社)日本環境測定分析協会関東支部との共催ならびに千葉県環境計量協会、埼玉県環境計量協議会との合同開催による『新任者教育セミナー』を実施致しました。今年度は、東環協から10名、千環協から30名、埼環協15名の合計55名に参加頂きました。

日 時 : 平成25年6月19日(水) 10:00~17:00
場 所 : (一社)日本環境測定分析協会 研修室
講義1「労働安全衛生について」 (10:45~12:00)
講 師 : セフティレビュー 大山 喜彦氏
講義2「環境計量の仕事とは」 (12:45~14:15)
講 師 : 小池技術士事務所 小池 満氏
講義3「精度良い測定のために」 (14:30~16:00)
講 師 : (株)佐々木環境技術事務所 佐々木克典氏
修了証授与式&名刺交換会 (16:00~17:00)

講義1では、例年通り労働安全衛生の基礎から測定業務における安全管理や労働安全衛生の進め方などの講義がなされ、聴講者からは日常業務におけるKYの必要性や、労働安全に関わる法律の重要性が分かりましたとの感想が聞かれました。講義2では、計量法の歴史から地球環境問題、また環境関連法規や計量証明事業登録制度、さらには国際規格や資格取得に至るまでの幅広い内容の講義がなされ、聴講者には環境計量の法律の背景などの認識を深めて頂きました。

講義3では、「精度」と「正確さ」について、また標準物質と試薬・器具類の管理、さらに自己管理の必要性和サンプリングの基礎とデータの取り扱い(不確かさ・再現性)に至るまでの講義がなされ、聴講者からは精度の良い分析・サンプリングを行うに当たって、目的意識を持つことの重要性など実際の業務で直面する事例に参考になりましたとの声が多く寄せられました。

講義の後の名刺交換会では、千環協、埼環協の参加者と共に、年齢、所属企業を越えて、それぞれ名刺交換しながら、仕事の情報交換をする光景が見られるなど活気あふれる交流会ができました。

(2) 濃度、騒音・振動関係技術研修会

本年度の技術研修会は、福島第一原子力発電所の事故発生により社会的な問題となっている、放射性物質による魚類の汚染状況、信頼性確保の上で重要になる標準物質に関する2題のご講演となりました。

日 時 : 平成 25 年 10 月 10 日 (木) 13:30 ~ 17:00

場 所 : スクワ-ル麹町 3F 「華の間」

参 加 者 : 会 員 19 社 32 名

① 第一部 (13:30 ~ 15:00)

演 題 : 「魚の浸透圧調節研究からセシウムの動態を探る」

講 演 者 : 東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 金子 豊二氏

金子氏には、魚の浸透圧調節、放射性セシウムによる汚染についてご講演いただきました。海水魚と淡水魚の浸透圧調節のしくみの違いによるセシウム動態の違い、また魚の浸透圧調節のしくみを活かした「温泉トラフグ」など最新の研究成果に基づいた、大変貴重なお話を伺うことが出来ました。

② 第二部 (15:30 ~ 17:00)

演 題 : 「標準物質と技能試験：環境分析の信頼性向上への貢献」

講 演 者 : 独立行政法人産業技術総合研究所 計測標準研究部門

無機分析科環境標準研究室 主任研究員 稲垣 和三氏

稲垣氏が所属する研究室では、環境分析の信頼性向上のための取り組みを行っておりますが、日頃から取り組んでおられるテーマについてご講演いただきました。研究室で取り組んでおられるテーマは大きく分けて、分析機器の開発・分析技術の開発、技能試験を通じた技能教育サポート、標準物質の開発、の3点です。先生はこれらのテーマについての取り組みを通じて、環境分析の信頼性向上にご尽力されているとのことでした。

(3) 環境測定技術事例発表会

本年は特別講演としまして東京都計量検定所 環境計量器検査係係長 清水 千博様より「計量証明事業所の立入検査状況について」というテーマについて講演いただきました。

今回の発表の内訳は濃度関係 6 題、騒音関係 1 題、放射線測定関係 1 題、その他 1 題で内一題は大環協様からいただき、内容も濃く質疑応答も活発に行われ、充実した事例発表会になったと思われます。

日 時 : 平成 25 年 11 月 8 日 (金) 10:00 ~ 19:00

場 所 : スクワ-ル麹町

参 加 者 : 会 員 25 社 (54 名)

(4) 新春賀詞交歓会

日 時 : 平成26年1月21日(火) 18:30~20:30

場 所 : スクワール麹町 5階「芙蓉の間」

出席者数 : 73名(会員31社・65名、賛助会員4社・7名、来賓4名)

新年のご挨拶を鈴木会長、来賓として東京都生活文化局計量検定所・検査課長高橋宏栄様、(一社)日本環境測定分析協会・会長である田中正廣様から頂戴した後、(一社)日環協関東支部 支部長であります津上昌平様の乾杯で新春賀詞交歓会がスタートしました。

歓談の途中では、関東化学株式会社様、竹田理化工業株式会社よりご挨拶を頂戴致しました。

歓談後は、恒例のビンゴ大会を行い、賞品を貰う参加者らは満面の笑みを浮かべる方々で大いに盛り上がりました。

(5) 東環協ニュースの発行(年3回)

第153号:平成25年 7月30日

第154号:平成25年 11月7日

第155号:平成26年 2月28日

(6) 東環協メール情報サービス(11件)

メール情報提供を 220~230まで行いました。

(7) 見学・研修会

本年度の東環協見学・研修会は、首都圏環境計量協議会連絡会の研修見学会として首都圏の4県単の合同開催になりました。

日 時 : 平成25年9月17日(火)9:00~17:00

参加者 : 34名(東環協会員 17社27名)

行 程 : 東京駅鍛冶橋出発 海洋研究開発機構 YOKOSUKA 軍港めぐり - 東京駅八重洲口解散

台風一過、非常に良い天気恵まれ、ほぼ予定通りに横須賀へと向かいました。海洋研究開発機構の横須賀本部は、地球環境調査研究、基盤的技術の研究開発・推進を行っている他有人潜水調査船「しんかい6500」実物大模型や深海生物などを見学出来る施設で、海洋科学技術館では深海生物の標本など非常に貴重なものを見学出来ました。

続いて横須賀中央エリヤまで移動し、遊覧船に乗船し停泊している自衛隊やアメリカ海軍の艦船を遠目で見ながらガイドさんに説明を受けました。途中渋滞もなく予定通り研修見学会を無事終了できました。

(8) 首都圏環協連関連事業

首都圏環協連委員会 : 4回

平成25年 : 6月10日、8月23日、12月6日

平成26年 : 2月21日

各県単の活動状況を報告し合い、当業界を取り巻く諸問題について意見交換しました。

平成23年度より分析単価等検討委員会を立ち上げ、今回は、甲信越環境測定機
関協議会連絡会議との合同研修会を行いました。

(9) 東京都計量検定所関連事業

期 日 : 平成25年11月1日(金)

イベント : 「都民計量のひろば」

場 所 : 新宿駅西口イベント広場

主 催 : 都民計量のひろば実行委員会

構成団体等 : 東京都計量検定所、(一社)東京都計量協会、東環協等18団体

平成25年度の「都民計量のひろば」のメインテーマは昨年度と同様に「くらしと計量」、サブテーマは「生活まもる 正しい計量」でした。

東環協は例年通り「環境と計量コーナー」を担当し、可燃ガス検知モニターや騒音計、放射線測定器などの測定機器を中心に展示・デモンストレーションを行いました。また、「PM2.5」のパネル展示を行ったところ、多くの方からよく理解できましたとのご意見をいただきました。

今年も環境問題をテーマにしたクイズを行ったところ、300名以上の方に参加いただきました。参加者には当会の正会員である(株)ヤクルト本社様より無償提供頂きましたリサイクル品のエコスタンドか松葉ガニの絵はがきをお渡ししました。

主催者側の発表によれば、来場者は延べ約1,000名ということでした。

(10) 平成25年度親睦ゴルフ大会

第1回(通算第26回)

開 催 日 : 平成25年6月21日(金)

場 所 : 阿見ゴルフクラブ

参加者数 : 20名

第2回(通算第27回)

開 催 日 : 平成25年11月22日(金)

場 所 : 千代田カントリークラブ

参加者数 : 14名

(11) ホームページ

東環協ホームページを新しくし、東環協関係の事業等を新着情報として表示するほか、環境省等の関係する情報を毎月更新しており今後協賛企業、会員企業の参加も検討しております。

以上

[第2号議案]

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします。

[第4号議案]

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします。

[第 5 号議案]

役員改選の件（案）

東京都環境計量協議会役員立候補者名簿(平成 26 年 4 月 20 日現在)

任期:平成 26 年 5 月総会后～平成 28 年 5 月総会まで

	役職	氏名	会社名	
1	会長	佐藤 隆	(株)分析センター	
2	副会長	竹田 良平	ヒロエンジニアリング(株)	
3	副会長	五十嵐 鋼	(株)東京環境測定センター	
4	理事	鈴木 幹夫	いであ(株)	
5	理事	川東 光三	(株)トーチコンサルタント	
6	理事	小牧 博信	(株)環境総合テクノス	
7	理事	斉藤 徹	(株)環境管理センター	
8	理事	中村 勉	(株)環境技術研究所	
9	理事	田口 和男	(株)オオスミ	
10	新理事	谷口 新吾	帝人エコ・サイエンス(株)	会長推薦
11	新監事	加洲 教雄	(株)ユニチカ環境技術センター	会長推薦
12	新監事	吉永 一男	三洋テクノマリン(株)	会長推薦

* 敬称略

定員：理事 12 名、監事 2 名

東環協選挙管理委員会

東京都環境計量協議会 第37回通常総会 出席者名簿

来賓	東京都計量検定所	検査課長	高橋 宏栄 氏
	(一社)日本環境測定分析協会	会長	田中 正廣 氏
	"	関東支部長	津上 昌平 氏
	東京都環境計量協議会	顧問	三階 貴男 氏

No	会 社 名	出 席 者 名	備 考
1	いであ(株)	鈴木 幹夫	
2	エヌエス環境(株)	泉 健司	
3	(株)オオスミ	田口 和男	
4	(株)化学分析コンサルタント	日山 貞由紀	
5	(株)環境管理センター	斉藤 徹	
7	(株)環境技術研究所	中村 勉、小柳 伸彦	
9	(株)環境総合テクノス	小牧 博信、種 鎮矢	
10	(株)クレアテラ	矢久保 守	
12	三洋テクノマリン(株)	矢治 正司、吉永 一男	
13	(株)島津テクノリサーチ	吉田 秀司	
14	新日本環境調査(株)	川岸 邦充	
15	(株)総合環境分析	安藤 弘昭	
16	(株)長大	星山 貫一	
17	帝人エコ・サイエンス(株)	谷口 新吾	
19	(株)東京環境測定センター	五十嵐 鋼、西村 隆夫	
21	(公財)東京都環境公社	高橋 和清、松田 徳博	
22	(株)トーニチコンサルタント	川東 光三	
23	日本エコテック(株)	西澤 秀男	
24	(株)日本公害管理センター	長岡 秀和	
25	(株)日本シーシーエル	濱砂 眞澄	
26	(株)日本総合科学	小川 正一	
28	ヒロエンジニアリング(株)	竹田 良平、石原 紀子	
31	(株)分析センター	佐藤 隆、奥富康浩、金 美奈子	
32	森永エンジニアリング(株)	仲山 佳孝	
34	(株)ユニチカ環境技術センター	加洲 教雄、立脇 征弘	
35	ユーロフィン日本環境(株)	江口 誠一郎	
36	飯島電子工業(株)	山田 恭平	賛助新
37	(株)東京科研	西野 栄一	賛助
39	松田産業(株)	秋谷 輝久、吉川 栄一	賛助
40	ラボテック(株)	金田 耕一	賛助

30社 40名

委任状

- ・(株)日本線路技術・興亜開発(株)・三立エンジニアリング・(一財)小林理学研究所
- ・共和化工(株)・三葉化工(株)・(株)ジェイベック・(株)環境技研(板橋)・日水コン(株)
- ・(株)フィールドテクノシステム・東京都鍍金工業組合・(株)環境技術センター・環境リサーチ(株)
- ・那須電機鉄工(株)・日鉄鉱コンサルタント(株)・日本板硝子環境アメニティ(株)・ドリコ(株)
- ・八千代エンジニアリング(株)・(株)日本分析・(株)日本総合科学・(株)環境技研(杉並)
- ・(一財)日本食品分析センター・(株)太平洋コンサルタント・開発虎ノ門コンサルタント(株)
- ・中央建鉄(株)・(株)ヤクルト本社中央研究所附属分析センター・(株)日新環境調査センター
- ・(株)伊藤公害調査研究所・クボタ化水(株)・(株)産業分析センター ・(株)泉環境

31社

第 37 回通常総会後の懇親会報告

総会終了後、恒例の懇親会が 18 時から、同じくスクワール麹町の 5 階「豊栄の間」にて、会員企業 32 社 48 名、来賓 4 名の方々にご出席いただき、盛大に開催されました。来賓には日本環境測定分析協会 会長 田中正廣氏、同協会 関東支部長 津上昌平氏、当協議会 顧問 三階貴男氏をお迎えました。

司会は斉藤理事が務め、佐藤新会長の挨拶に始まり、来賓を代表して日環協の田中会長よりご祝辞をいただきました。日環協の津上関東支部長による乾杯の発声により懇親会が始まり、それぞれ歓談しながら楽しい時間を過ごすことが出来ました。途中、当協議会前会長の鈴木理事より退任の挨拶、退任された前理事の泉氏からの挨拶、新任の 3 役員からの挨拶、新任の五十嵐副会長からの挨拶、また、新しく賛助会員になられた飯島電子工業(株)様からも力強い挨拶等を賜りました。

宴たけなわの中、五十嵐副会長の音頭による中締めで、懇親会が終了しました。



< 佐藤新会長の挨拶 >



< 乾杯の音頭をとる津上支部長 >



< 懇談会風景(1) >



< 懇談会風景(2) >

ご来賓の方の祝辞

一般社団法人日本環境測定分析協会 会長 田中正廣氏



< 田中会長 >

ご紹介に預かりました日環協の田中でございます。東環協の皆さまの前に立たせて頂くのは新年以来です。半年ぶりにお邪魔させて頂きました。いろんなことをお話しさせて頂きたいのですが、2、3簡単などところをご報告、お知らせ、あるいは情報として提供させて頂きたいと思っております。

最初に、今、佐藤新会長が就任されましたけれども、その前に鈴木前会長が8年やられたということに私は敬意を表したい、本当に素晴らしいと思います。私は、実は去年の5月に会長に就任しまして、やっと来週の23日で1年が経ちますが燃料切れ、体力切れという状況で、8年というのは本当に素晴らしいと思います。今月の23日、日環協総会を霞ヶ関で行うのですが、今年は40周年という節目にもなっておりまして、総会の後、霞ヶ関ビルで、40周年記念式典をさせて頂きます。今年は環境省からは事務次官、経済産業省からは局長が来て頂いて記念パーティーを行う形となっています。これには明日申し込まれてもまだ出席できますので、多くの方の参加をよろしくお願いいたします。

それから、いくつか新しい情報もご提供させて頂きたいと思うのですが、日環協の活動の一つにラジ研、いわゆる放射能関係の研究会があるのですが、廃棄物資源循環学会で放射能の分析についてマニュアルを改訂しようというご検討されています。それについて一部お手伝い頂けないかと協会に来ております。また、別のワーキングとして産総研のなかで水中のセシウムを公定法として作り上げるべきということでワーキングを置いていまして、そちらにも協会から出てほしいということでワーキングに参加しています。そういった新しい動きも理事会もしくはホームページの中で提供していけるのではないかと考えております。

来週の日環協の総会時にも新年度の挨拶の中でご報告させて頂くことになるのですが、先ほど佐藤会長も言われた低価格の問題について、実は3月までの理事会の中で支部長と各県単の名前で最低価格の導入についてのお願書というのを文書として承認いただいて、各県単と支部で行けるところは順次活動していただきながら各地域の行政の窓口、まだ最低価格が導入できてないところをお願いに上がるという活動を、これは支部、日環協というよりも基本的には県単の方と協力しながらでないといけない話で、日環協、県単と合わせたコラボという形で協力をお願いしております。

今年の活動は先ほどからお話ししているように、やはり1社、2社、計量証明書の不具合事例、新聞沙汰になることもあり、新聞沙汰にならなくとも地方では有名になってしまう事件というか事例が起きています。そういったことも含めて計量証明事業所の信頼が揺らぐことが起きて、かれこれ、私が知っているだけで10年くらい続いている。これもどこかでストップしなきゃいけない。きっちりやっている会社はきっちり評価してほしい。教育制度、設備の導入、新技術の導入、やっているところを何とか支援、アピールできるように後押しをして行く事を協会として26年度行っていきたいという思いで今度の23日の挨拶に入れさせて頂く予定です。各地区の計量検定所さんと一緒になってきっちりしている事業所をどうしたらきっちり評価できるかといったことを今年の課題としていきたいと思っております。

東環協さん、大環協さんのご協力を仰ぎながら、是非、きっちりとした対応をしている事業所はきっちりとしているという評価を、それも社会的にも評価されるような形となるような活動を行なっていきたいと思っております。そういう意味でもご協力をお願いいたします。

それからもう一つ。これは日環協としてはオブザーバーになるのですが、環境新聞の中に日本 EDD 推進協議会というのが一般社団で設立して記事になっています。これは4月

30日に法務局に届けまして、何をやるかという、今後3年~5年かかるかもしれませんが、計量証明書の電子納品、電子承認による電子納品というものをヨーロッパ、アメリカからの外圧が来る前に勉強しておかなければならないということで進める会が発足します。当業界はあくまでもオブザーバーで参加するのですが、そういった会の情報も発信させてもらいながらより今の時代にあった計量証明事業所で、しかも精度も高いということをやりたいと思います。

お願いばかりですが、普段から関東支部を通じてご協力頂いている東環協さんですが今後ともよろしくお願いたします。

懇談会の中で挨拶をされた方々



< 鈴木前会長の挨拶 >

平成 18 年度から 4 期 8 年間当協議会の会長職を務められた鈴木理事よりの会長退任挨拶



< 泉前理事の挨拶 >

泉氏からの理事退任の挨拶(就任中の会員各位への感謝表明と機会があればまた皆さんと協力して当協議会の発展に努力したい旨の表明)



< 新賛助会員飯島電子工業(株)さんの挨拶 >

今年度から新しく賛助会員になられた飯島電子工業株式会社の山田様からの新規加入挨拶



< 中締め音頭をとる五十嵐副会長 >

今年度から新たに当協議会の副会長に就任された五十嵐氏からの就任挨拶と中締めの模様

東京都環境計量協議会第37回通常総会懇親会 出席者名簿

来賓	東京都計量検定所	検査課長	高橋 宏栄 氏
	(一社)日本環境測定分析協会	会長	田中 正廣 氏
	"	関東支部長	津上 昌平 氏
	東京都環境計量協議会	顧問	三階 貴男 氏

No	会社名	出席者名	備考
4	いであ(株)	鈴木 幹夫、海老澤 隆宏 森田 達也、近野 良哉	
5	エヌエス環境(株)	泉 健司	
6	(株)オオスミ	田口 和男	
8	(株)化学分析コンサルタント	日山 貞由紀、宮本雅芳	
9	(株)環境管理センター	斉藤 徹	
11	(株)環境技術研究所	中村 勉、小柳 伸彦	
14	(株)環境総合テクノス	小牧 博信、種 鎮矢、太田 秀和	
15	(株)クリアテラ	矢久保 守	
18	三洋テクノマリン(株)	矢治 正司、吉永 一男、藤身 諭	
19	(株)島津テクノリサーチ	吉田 秀司	
20	新日本環境調査(株)	川岸 邦充	
21	(株)総合環境分析	安藤 弘昭	
22	(株)長大	星山 貫一	
23	帝人エコ・サイエンス(株)	谷口 新吾	
25	(株)東京環境測定センター	五十嵐 鋼、西村 隆夫	
27	(公財)東京都環境公社	高橋 和清、松田 徳博	
28	(株)トーニチコンサルタント	川東 光三	
29	日本エコテック(株)	西澤 秀男	
30	(株)日本公害管理センター	長岡 秀和	
31	(株)日本シーシーエル	濱砂 眞澄	
33	ヒロエンジニアリング(株)	竹田 良平、石原 紀子	
36	(株)分析センター	佐藤 隆、奥富 康浩、金 美奈子	
37	森永エンジニアリング	仲山 佳孝	
39	ユニチカ環境技術センター	加洲 教雄、立脇 征弘	
40	ユーロフィン日本環境(株)	江口 誠一郎	
41	飯島電子工業(株)	山田 恭平	賛助新
42	(株)東京科研	西野 栄一	賛助
43	日本インスツルメンツ(株)	吉岡 芳明	賛助
44	ビーエルテック(株)	岡野 勝樹	賛助
46	松田産業(株)	秋谷 輝久、吉川 栄一	賛助
47	(株)ミカミ	三上 淳子	賛助
48	ラボテック(株)	金田 耕一	賛助

参加者総数 来賓 4名 会員 32社 48名 計 52名

平成 26 年度 新任者教育セミナー報告

当協議会では今年度も「環境計量測定データの信頼性の向上」を目的として各種技術講習会等を企画してまいりますが、その一環として昨年に引き続き日環協関東支部との共催で、新任者や若手分析技術者を対象とした『新任者教育セミナー』を開催いたしました。第 7 回目の開催となる今年度は昨年同様三県単の合同開催となり、ほぼ満席の 59 名(東環協：16 名、千環協：27 名、埼環協：16 名)と多くの方にご参加いただきました。

日 時 : 平成 26 年 6 月 17 日(火) 10:00~17:30

場 所 : (一社)日本環境測定分析協会 2 階研修室

講義 1 「労働安全衛生について」 (10:45~12:00)

講 師 : セフティレビュー 大山 喜彦氏

〔講義概要〕



< 大山講師 >

1. 労働災害発生状況
2. 労働安全衛生法とは
3. 安全衛生管理体制
4. 災害発生の仕組みと災害原因
5. ハインリッヒの 1:29:300 の法則
6. 労働安全衛生マネジメントシステム (O S H M S) とリスクアセスメント
7. これからの化学物質管理の考え方
8. 危険予知訓練と指差呼称

〔参加者の感想〕

労働災害の重大性を再確認した。今後は安全に注意して作業に取り組みたい。

自分の仕事で危険な物質を扱っているという意識が薄いと改めて感じた。知識を付けて、事故が起こらないようにしていきたいと感じた。

過去の重大災害事例から、その流れと原因の話が聞けた。災害発生要因と防止策について興味を持ち受講した。法令遵守だけでなく、自主的に危険に対して意識することが大切と学んだ。

労働安全衛生のリスクをいかに低くするか、労働災害ゼロを危険ゼロにするか等を実感した。

講義2「環境計量の仕事とは」 (13:00~14:30)

講師：(一社)日本環境測定分析協会関東支部 支部長 津上昌平氏



<津上講師>

〔講義概要〕

1. 環境とは、環境学について
2. 環境問題への取組みの歴史
3. 地球環境問題
4. 環境関連法規
5. 計量法と事業登録制度
6. 国際規格
7. 資格取得

〔参加者の感想〕

環境問題の初歩的な所から法令や資格など、環境測定に係わることを広く聞いて勉強になった。サンプリングや分析の現場での注意や考え方など、参考になった。

各法令の関連性が、自己学習の時よりはっきり見えて分かり易かった。資格の話も目標の参考になった。

私達の業務の基本である「環境基本法」について学べたことは、大変有意義だった。

講義3「精度良い測定のために」 (14:45~16:15)

講師：(学)早稲田大学 環境保全センター 村井幸男氏



<村井講師>

〔講義概要〕

1. サンプリングの基礎
2. 環境測定に関する化学分析の基礎
3. データの取り扱い

〔参加者の感想〕

各項目において、もう少し詳しく説明が欲しい。時間が足りない印象を受けた。

サンプリング、分析、データ管理と3部分に分けての講義で、非常にわかり易かった。テキストに沿った講義だったので、その内容もよく理解出来た。

サンプリングが分析に与える影響の大きさを知った。分析業務で活かすためには、サンプリングの知識が必要ということも分かった。

ラボから出る機会がないので、どのようにサンプリングを行っているか知ることが出来てよかった。また、精度の高い分析を行う方法を学べた。

セミナー終了後、東環協、千環協、埼環協にそれぞれ分かれて、修了証の授与式が行われました。授与式後の名刺交換会は、入社間もない参加者にとっては名刺交換の練習という面もあり、最初は遠慮がちでしたが、次第に打ち解けて、活発にディスカッションを行っていました。本年度改訂されたテキストを用いて限られた時間内での講義で質問時間も限りありましたが、名刺交換会では講師の方に積極的に質問する参加者の姿も見受けられました。

また、今回も参加者の皆さんにはアンケートをお願いしました。講義についての感想は、講師の方々にフィードバックするとともに、その一部は上記、記事に掲載いたしました。参加者の方の貴重なご意見・ご要望については、今後の東環協の運営に反映させていただきます。



< 受講風景(1) >



< 受講風景(2) >



< 終了書授与式 >



< 名刺交換会風景(懇談等 1) >



< 名刺交換会風景(懇談等 2) >

平成 26 度 新任者教育セミナー 参加者名簿

平成 26 年 6 月 17 日(火) 於 (一社)日本環境測定分析協会 研修室

講師	セフティレビュー 日環協関東支部長 早大環境保全センター	大山 津上 村井	喜彦氏 昌平氏 幸男氏
----	------------------------------------	----------------	-------------------

	会 社 名	氏 名	備 考
1	飯島電子工業(株)	山田 恭平	
2	いであ(株)	前田 紋子	
3	いであ(株)	久保田 道代	
4	エヌエス環境(株)	山本 司	
5	(株)環境管理センター	牛 鑫	
6	三洋テクノマリン(株)	北川 陽一	
7	新日本環境調査(株)	加藤 なつ美	
8	(株)日本シーシーエル	橋本 彩香	
9	(株)日本分析	大江 樹	
10	(株)日本分析	富田 かおり	
11	ヒロエンジニアリング(株)	寺口 宏恵	
12	(株)分析センター	野田 奈緒果	
13	(株)分析センター	阪本 昌央	
14	(株)分析センター	関口 達也	
15	(株)分析センター	坪内 孝太	
16	(株)分析センター	櫻井 怜	

合計 10社 16名



< 講師等との懇談の様子 >

新役員の挨拶

平成 26 年度は役員の改選期となりますが、前期中(2 月、3 月)及び任期終了時(5 月総会時)に合わせて下記の 4 名の方が都合により退任されました。永年、東環協の運営、発展にご尽力くださいまして、誠にありがとうございました。

皆様のご健勝と益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

- ・理事 : 池田 郁司 (株)日清環境測定センター(2 月退任)
- ・監事 : 石山 直樹 ユーロフィン日本環境(株)(3 月退任)
- ・監事 : 泉 健司 エヌエス環境(株) (5 月退任)
- ・理事 : 佐賀 一芳 三洋テクノマリン(株) (5 月退任)

また、役員の退任に伴い、通常総会において会長推薦による新役員の提案があり、下記の 3 名の方が新たに役員として承認されました。

- ・理事 : 谷口 新吾 帝人エコ・サイエンス(株)
- ・監事 : 加洲 教雄 (株)ユニチカ環境技術センター
- ・監事 : 吉永 一男 三洋テクノマリン(株)

新しく役員になりました各氏には、今後の抱負を含め、ご挨拶を頂きました。

谷口 新吾 理事 [帝人エコ・サイエンス(株)]



谷口理事

この度、第 37 回東京都環境計量協議会総会におきまして、理事に選任されました帝人エコ・サイエンス(株) 谷口でございます。理事という大役を任命されまして何かしら、協議会のためにお役に立ちたいと決意を新たにしております。

今後、2020 年東京オリンピックに向け、インフラの整備(道路、橋梁、トンネル、河川・港湾構造物、上下水道等)で、老朽対策工事(建替え・延命化処置等)の中で環境調査、分析の増大があると期待されます。

当協議会で、何らか具体化できる関わりを皆様とともに考えていきたいと思っております。当協議会の発展のために微力ではありますが、精一杯努力していく所存でございます。至らぬところも多々あるかとは存じますが、役員・会員皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

加洲 教雄 監事 [(株)ユニチカ環境技術センター]



加洲監事

この度、第 37 回総会で監事に選任されました(株)ユニチカ環境技術センターの加洲でございます。今年度より、伝統ある東京都環境計量協議会の皆様とともに活動させていただくことになりました。宜しくお願い申し上げます。

さて、日本経済は、アベノミクス効果でようやくデフレ脱却の兆しが見え、加えて 2020 年のオリンピック、パラリンピックの東京開催への取り組みが進むなど、明るさが感じられるようになりました。当業界を取り巻く環境も少しずつ好転し、バランスのとれた、好ましい経済成長に関係が進むと期待しているところです。

このような背景のなか、当協議会の活動を通して皆様が経済成長に関係できるよう、その基盤であり、財産である「人」、「設備」、「仕組み」を整えるお手伝いに精一杯尽力したいと考えております。

当協議会の目的「安全、安心を高度な技術、厳しい管理により追及します」は、社会システムの中で、業界の存在価値を高めるすばらしいキーセンテンスです。当協議会が会員の皆様のお役に立てるよう、諸先輩の皆様とともに一生懸命努力していく所存です。未熟者であり、至らぬところが多々ありますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

吉永 一男 監事 [三洋テクノマリン(株)]



吉永監事

この度、第 37 回東京都環境計量協議会総会におきまして、監事に選任されました三洋テクノマリン(株)の吉永でございます。37年の歴史と伝統のある東京都環境計量協議会の監事という大役を仰せつかり、責任の重さを痛感しております。

さて、業界の現状は厳しさを増しており、安全と品質確保を効率よく管理していく必要性が、益々求められていくと認識しております。長年にわたり当協議会の培われてきた歴史を理解し、皆様へのお役に立てるよう努力して参ります。

現在我が国は、震災復興、原発再稼働等のエネルギー問題、政策の変化等、大きな変化の最中ではありますが、皆様と共に環境に優しい我が国の未来に向けて邁進致したく、何卒、諸先輩のご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

前会長退任の挨拶

平成 26 年度は役員改選期であり新たに 3 名が就任されましたが、今期から前会長の鈴木理事に替わり新会長として佐藤前副会長が就任されました。また、それに伴い五十嵐理事が新副会長として就任されました。3 名の方の退任の挨拶、新任の挨拶が寄せられていますので紹介させていただきます。

鈴木 幹夫 理事(前会長)の会長退任の挨拶

平成 18 年より、4 期 8 年、会長職を務めさせていただきました。

なんとか会長職をこなせたのも副会長はじめ役員の皆様、そして会員の皆様のご協力によるものと、感謝しております。

この間には、東日本大震災とそれに伴う福島原発の放射能事故があり、放射性物質の測定といった新しい仕事も増えました。また、分析の質、精度管理の重要性が求められてきた時期でもあります。会員の皆様への新しい情報提供の場として、東環協のHP上に「法令改正等情報」を作成し毎月更新しておりますがご覧になっていただけてますでしょうか。

東環協の大きな催しとしては、30 周年の記念行事、日環協に協力して行った全国環境セミナーなどがありました。皆様のご協力により無事開催できましたことお礼申し上げます。これからは、理事として新会長を手助けし東環協の発展に努めてまいりたいと思います。これからも、よろしく願います。

- 鈴木前会長在任中の大きな事業の記念写真の一部



(30 周年記念事業時 H19)



(新任者セミナー開始 H20)



(日環協全国環境セミナー in Tokyo 開催 H23)

新会長・新副会長の挨拶

佐藤 隆 新会長の会長就任挨拶



佐藤会長

この度、第 37 回通常総会におきまして、前任者である鈴木幹夫会長の推薦によりまして、これまでの副会長職から会長職に就任させて頂きました(株)分析センターの佐藤でございます。まずは、鈴木前会長に対しまして、4 期 8 年間に渡り会長職を務められ「本当にご苦労様でした。」と申し上げたいと存じます。鈴木前会長は、終始一貫「会員皆様に関連省庁の法改正に伴う情報提供 = 環境計量証明業としての適切な準備をしてもらう」と、首都圏環境計量協議会（東環協・神環協・埼環協・千環協の 4 県単）を通じて「検査・分析業界の技術力の見える化 = 権威性の向上」の 2 つ活動に対して、特に尽力されておりました。前者については、当会のホームページにおきまして毎月の法令情報を自ら調べて掲載すると共に、一昨年、環境省の底質調査方法が改定された際には、環境省のホームページ上に公開された原文すべてを製本するように指示され、その改訂版を会員に配布すると共に、平成 24 年の事例発表会において、自ら特別講演され、改定内容を詳細に解説して頂きました。後者については、日本最大のマーケットである東京地区において進む「価格破壊に伴う測定データに対する信頼性の低下」に危惧され、周辺の県単と連携して「測定技術の向上維持」と「最低制限価格制度の設定」に関する啓蒙活動に尽力されました。小職も鈴木前会長の意思を引き継ぎ、皆様に対して関係省庁に関する「法改正等の動き」を一早く情報提供できる環境を構築すると共に、日環協・首都圏環協連と連携して各自治体に対して「最低制限価格の設定」に関する啓蒙活動や計量検定所が行う「各事業者への立入検査に関する実態把握と見える化」を推進することで、会員皆様すべてが優良事業所となる事を願う所存です。また、当協議会を環境計量証明事業所のための団体ではなく、機器メーカー様や試薬メーカー様にも賛助会員として参画頂くことで、さまざまな技術情報交換が可能な場となり、その対価として付加価値の高い検査・分析サービス業にステップアップしたいと考えております。当協議会も 3 年後には創立 40 周年を迎えるところでございますが、同業界を取り巻く環境問題は、創立された昭和 52 年当時とは大きく変革しております。具体的なキーワードを挙げれば、「公害問題」から「環境保全」としてのアスベスト問題・シックハウス問題・放射能汚染問題などのように複雑化した生活環境から生じた環境問題は極微量化・微少化となり、そのため極めて高度な分析技術力と解析力が問われるようになりました。そのため測定機器の開発技術者と測定側の技術者との交流は不可欠と考えます。さらに、こうした高度化した環境測定 & 分析化学の分野に憧れ、あるいは豊かな暮らしを夢見て入社頂く若者らが健全に成長することで、環境計量証明事業あるいは検査・分析産業は「優秀な人材集団」として社会的認知されるような土壌 = 基盤造りを皆様と共に整備できればと思っております。何卒、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

五十嵐 鋼 新副会長の副会長就任挨拶



五十嵐副会長

5月の通常総会において副会長に任命されました、(株)東京環境測定センターの五十嵐でございます。私が東環協の役員を初めて拝命したのは平成18年の総会からで、奇しくも鈴木前会長が会長になられた年でした。以降、鈴木前会長の下、監事・理事を都合8年間に亘って務めさせて戴きました。この間、鈴木前会長からは、多くの事を学ばせて戴き、感謝の気持ちで一杯です。

この度、期せずして副会長という大役を仰せつかりましたが、今後は新会長の下、役員の方々と協力し、鈴木前会長が進めてきた路線を継承、発展させるべく、努力していく所存です。皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

佐藤新会長の方針は、関係省庁の「法改正等の動き」をいち早く提供できる環境の構築、日環協や首都圏環協連と連携した適正価格に関する取り組み〔自治体に対する最低制限価格の設定に関する要望活動〕、計量検定所が行う「立入検査に関する実態把握と見える化」の推進、技術向上のための「教育、研修、セミナー」の開催、会員相互の交流のための親睦活動の推進であり、これらを着実に実行して参ります。また、会則で「必要に応じて設置する」とされている「専門委員会・分科会」についても、上記方針を強く推し進めるため、設置について役員間で協議を進めます。さらに、賛助会員の皆様にも「加盟のメリット」をより実感して戴くための施策について検討を進めて参ります。

これらの活動を通じ、業界の健全な発展に少しでも寄与できれば幸いです。会員の皆様が「加盟していて良かった」、会員でない企業の皆様も「ぜひ、加入したい」と思える、魅力ある東環協を構築して行けたらと思います。

甚だ力不足な私ではございますが、皆様のご指導を仰ぎながら、精一杯務めさせて戴きます。何卒、宜しくお願い申し上げます。



役員の役割分担

平成 26 年度は、下記のような役員の役割分担で事業を進めて参ります。

	佐藤	竹田	五十嵐	鈴木	川東	中村	田口	小牧	斉藤	谷口	吉永	加洲	三階
役員会議事録					◎				○		○		
ホームページ管理			○	○				◎			○		
資料作成管理		○	○										◎
会員名簿管理				○			○			○			◎
首都圏連絡委員会	◎	○				○							
東環協ニュース				○	◎			○				○	
官庁関係挨拶等	◎	○	○							○			
新任者教育セミナー	○	○	◎										
日環協関東支部セミナー	○	○	○										
見学・研修会	○						◎		○	○		○	
大環協事例発表会	◎		○										
技術研修会			◎	○			○		○		○		
事例発表会			◎	○				○	○		○		
都民計量のひろば		○				◎		○		○		○	
懇親会(ゴルフ、その他)		○				◎	○					○	
新春懇親会	○	◎	○										
総会	○	◎	○										
会計監査	○	○	○								◎	○	○
役員研修会	○	◎	○										
記録写真					○			○	◎			○	
各種イベント受付							◎			○			
事務局	○	○	○										○

主担当
担当

関係機関・団体の動き

平成 26 年 7 月現在で、既の実施又は今後予定されている関係機関及び団体の動きは、以下のとおりです。

首都圏環境計量協議会連絡会

- | | | |
|------------|-----------|---------------|
| ・ 第 1 回委員会 | 6 月 12 日 | 神田 |
| ・ 第 2 回委員会 | 9 月 5 日 | 神田 |
| ・ 首都圏見学研修 | 10 月 23 日 | 神奈川県水産技術センター他 |
| ・ 第 3 回委員会 | 12 月 12 日 | 神田 |

(一社)神奈川県環境計量協議会

- | | | |
|--------------|----------|-------------|
| ・ 第 38 回通常総会 | 4 月 25 日 | かながわ労働プラザ |
| ・ 親睦会 | 5 月 30 日 | ニュー南総ゴルフ倶楽部 |
| ・ 親睦会 | 10 月に延期 | 茅ヶ崎海岸(地引網) |

(一社)埼玉県環境計量協議会

- | | | |
|--------------------|----------|------------|
| ・ 第 38 回通常総会 | 5 月 30 日 | 大宮サンパレス |
| ・ 新任者教育セミナー(日環協共催) | 6 月 17 日 | 日本環境測定分析協会 |

千葉県環境計量協会

- | | | |
|--------------------|----------|------------|
| ・ 第 38 回通常総会 | 4 月 18 日 | プラザ菜の花 |
| ・ 新任者教育セミナー(日環協共催) | 6 月 17 日 | 日本環境測定分析協会 |
| ・ ボーリング大会 | 7 月予定 | ラウンドワン習志野店 |

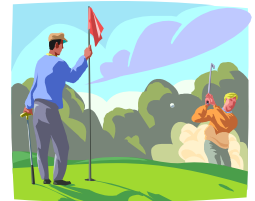
(一社)日本環境測定分析協会

- | | | |
|---|--------------------|------------------|
| ・ 平成 26 年度通常総会・40 周年式典 | 5 月 23 日 | 東海大学交友会館 |
| ・ 新任者教育セミナー | 6 月 17 日 | 日本環境測定分析協会 |
| ・ 第 25 回日環協・関東支部
環境セミナー in 福島 by 埼玉 | 7 月 24 日
~ 25 日 | ホテルメトロポリタン長野 |
| ・ 第 22 回日環協・環境セミナー
全国大会 in Yamaguchi | 9 月 26 日
~ 27 日 | ANA クラウンプラザホテル宇部 |

東環協からのお知らせ

平成 26 年度第 2 回（通算第 28 回）親睦ゴルフ大会報告

7 月 4 日（金）茨城県龍ヶ崎市泉町のザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎にて恒例の親睦ゴルフ大会が開催されました。初参加の方やOBの方を含め 15 名にご参加頂きました。霧雨？模様の微妙な天候でレインウエアーを着るかどうか戸惑うような 1 日でしたが、全員スコア 以外は無事ホールアウトすることができました。



あるデータによると、「広くフラットな樹林間に展開している戦略性の高いコースで、アンジュレーションやウォーターハザードの個性的な配置が各ホールの特徴を際立たせている。」という顧客満足度 94%と非常に高いすばらしいコースでしたが、どのように楽しまれたかは、参加者の皆さまでそれぞれ異なったようでした（笑）。バブル時代設立されたコースでしたので、大理石を使ったクラブハウスをはじめ雄大かつ豪華で、古き良き時代を思い浮かべられた方もおられたようです。ご参加頂きました皆さま、ありがとうございました。

また、表彰式を兼ねたパーティでは、本命の若手が優勝されたことも重なり、ゴルフ談議に花が咲き、充分親睦を深められたご様子でした。

次回は、秋の開催を予定しておりますが、今回ご参加頂けなかった皆さまも是非ご参加頂けますようお願いしております。

平成 26 年度これからの主要行事予定



今年の見学・研修会(10 月 23 日予定)は、神環協と共同で行う予定で神環協が中心となり準備中です。神奈川県水産技術センター、南部汚泥センターを見学予定で、横浜中華街での懇親会も予定されています。とても興味深い見学・研修会となりますので、お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

その他の、今後予定されている行事は、以下のとおりです。各行事については、詳細が決まり次第、随時ご連絡します。

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| ・技術研修会 | 10 月 6 日(月) |
| ・都民計量のひろば | 11 月 1 日(土) |
| ・平成 26 年度第 2 回（通算第 29 回）親睦ゴルフ大会 | 11 月 14 日(金) |
| ・環境測定技術事例発表会 | 11 月 21 日(金) |
| ・賀詞交歓会 | 平成 27 年 1 月 中旬予定 |

事務局からのお知らせ

- ・平成26年度の会員の動き

入会された会員

会員区分：正会員

会員名：株式会社総合水研究所

代表者：代表取締役 待田 裕美

連絡担当者：東京支店 分析センター 松川 洋

T E L : 03-3798-3532 , F A X : 03-3798-3562

会員区分：賛助会員

会員名：飯島電子工業株式会社

代表者：代表取締役社長 福嶋 康雄

連絡担当者：営業部 山田 恭平

T E L : 0533-67-2827 , F A X : 0533-69-6614

現在の会員数（平成26年7月現在）

正会員 77社

賛助会員 10社 合計 87社

- ・編集後記

遅くなりましたが、第37回通常総会と懇親会、新任者教育セミナーを中心に編集した、平成26年度の最初の「東環協ニュース」第156号を発行いたしました。

今年度も東環協の情報発信のために編集担当者として微力ながら尽力していきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

役員一同の協力もあり「東環協ニュース」第156号が無事に完成しましたので皆様にお届けいたします。今後も会員の皆様のご協力を得ながらより良いものにしたいと思っております。「東環協ニュース」に関するご意見、ご感想等がありましたら、事務局、役員まで気軽にご連絡ください。宜しくお願い申し上げます。